

アジア政経学会 2002年度第2回常務理事会 議事録

1. 日 時 2002年7月6日(土) 15:00~17:00
2. 会 場 霞山会館
3. 常務理事総数 24名
4. 出席者 8名(天児・石井・加藤・加納・末廣・高原・中兼・山田)
5. 委任状提出者 15名(上原・絵所・小川・北原・国分・小島・白石・田中恭・
西村・平野・藤原・古田・毛里・若林・渡辺)
6. 出席者合計 23名
7. 議 長 石井理事長
8. 議 事

*定刻に、石井理事長が議長席に着き開会。まず総務担当理事より本日の出席者は23名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本常務理事会の議事録署名人として、末廣氏、高原氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

*前回常務理事会(2002年4月6日)議事録を確認した。

検討事項

(1) 全国大会について

- ① 理事長より、本年度東日本大会(6月8日実施、文部科学省学術総合センター)及び、西日本大会(6月29・30日実施、福井県立大学)についての報告があった。
- ② 加藤理事より、本年度全国大会(10月26・27日、神戸大学)の準備状況についての報告があった。大会プログラムについて、報告者(予定)に院生が多いことによる、発表の質の問題について議論が行われた。
- ③ 理事長より2003年度の大会会場について、東日本大会はアジア経済研究所、西日本大会は九州産業大学を予定しているとの報告が行われた。

(2) 50周年記念行事について

50周年記念となる全国大会については、2003年11月8・9日、実行委員長を末廣理事、事務局長を丸川会員として行うことで、承認。会場については、文部科学省学術総合センターを検討中とのこと。
大会2日目の記念シンポジウムは、国分理事の担当で、内容については報告待ちの状態である。

(3) 名簿、ニューズレターについて

- ① 高原理事より、会員データベースの入力・変更作業の際、新規登録会員の情報が

出てこない、会費納入状況が把握できない、名誉会員が検索できない等、サーバー上でトラブルが発生しているとの報告があった。

②今年の名簿発行年（2年に1度）にあたる。名簿の版下作成を末廣理事が担当し、印刷、発送については、複数の業者から見積もりを取った上で決定、依頼することで、承認。

③ 理事長より、本日欠席の若林理事に代わり、ニューズレター掲載予定の東日本大会への参加記の募集を、6月末日に締め切ったとの報告があった。

④ 外務省の『アジア研究』買い取りについて

7月2日、理事長、高原理事が外務省を再度訪問して依頼、予算が依然確定しないが、協力の意思があることを確認、今後も働きかけを続ける予定である、と理事長より報告があった。また、紀伊国屋書店とも、買い取りについての話し合いの場を持つ予定である。

(5) 『アジア研究』の編集状況について

加藤理事より、第48巻第3号（編集完了、7月31日発行予定）、第4号（10月31日発行予定）の編集状況について、報告があった。また、これに関して、論文投稿者の制限枚数オーバーの問題が取り上げられた。加納理事より、『アジア研究』のページ数と刊行費予算についての報告があり、これをもとに、提出時に枚数を申告させる（末廣理事）、オーバー分を自己負担させる等の制裁が必要ではないか（天児理事）等、様々な意見が出された。

(6) 入・退会者について

以下の入会希望者8名（退会希望0名）の仮承認が行われた。

<入会者>

李 賢映	（東京工業大学価値システム専攻 博士後期課程）
奥村 哲	（東京都立大学人文学部 教授）
高地 薫	（東京大学東洋文化研究所 助手）
張 維納	（亜細亜大学経済学研究科 博士後期課程）
服部 健治	（愛知大学現代中国学部 教授）
広川 佐保	（日本学術振興会）
三品 英憲	（東京都立大学 院生）
横井 香織	（静岡県静岡工業高校 教諭）

*次回常務理事会： 9月21日（土）15:00～17:00

石井議長が午後5時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成14年7月6日

財団法人アジア政経学会

議長

石 中 明 

議事録署名人

末 廣 昭 

議事録署名人

高 原 明 生 